

第4回 新みやしろ郷土かるた制作委員会 議事録

日 時	平成28年8月2日（火）18時～20時00分
会 場	宮代町役場 204会議室
出 席	委 員：田中委員長、岡本、鈴木、青木、栗本、浅倉、松本、石川 事務局：佐藤室長、田中、小林（敬称略・順不同）
欠 席	関根副委員長、青柳
傍 聴	なし

1 次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 審議 ① 読み句の応募状況と1次選定結果について
② 読み句の2次選定
- (4) その他
- (5) 閉会



2 議事

(3) 審議

① 読み句の応募状況と1次選定結果について

- 資料に沿って、最終の応募状況、1次選定結果について事務局から説明
→初代かるた制作時の応募数を大きく上回った。
→応募作品の題材の傾向として、東武動物公園やハナレンジャー、キャンドルナイトなど、子供たちに身近なものが多くなっている。

② 読み句の2次選定

- 資料に沿って、2次選定の方法について事務局から説明（前回会議の再確認）
→題材と音の重複をできるだけ避け、効率よく採点を行うための資料の使い方（採点方法）。
→2次選定対象作品1109句のうち、複数作品が残っている作者は224名。

主な意見・質疑応答等

- 委 員 学校の題材は、どこか1校だけを採用すると不公平になるので、全部の学校を採用するか、あるいは全く使用しないか、のいずれかになると思う。ただ、使うとなると、7つの音を使ってしまう。それではもったいないので、学校の題材は使用しない、ということにしてはどうか。
- 事務局 小学校は、歴史が長いので、それぞれに特徴があり、差別化もしやすい。しかし、中学校は差別化が難しいので、読み句も作りにくいと思われる。いずれにしても、学校題材の採用についての最終的な判断は、委員会の協議で決定していただく。町として、どの題材を使ってほしい、という考えは持っていない。ただ、学校が1校だけ採用される、という状況は好ましくないとと思われる。

- 各委員による採点作業

(4) その他

- 第7回会議日程を変更（日程追加）した。
→（新）第7回会議 9月6日（火）18時～ 第8回会議 9月20日（火）18時～